

兵庫県立国際高等学校

(研究テーマ) 防災×国際 ユニバーサルな防災を目指した取組

《活動の要旨》

本年度の研究テーマとして、昨年度の研究に引き続き防災について取り組んだ。

①言語・コミュニケーション能力を生かして、保護者や部員以外の生徒への被災者支援の意識を持ってもらうこと。②学生が各防災施設への見学を通して、震災に対しての知識や考え方を学ぶこと。③①の運営や、②で学んだことを下地に学生の発想力を生かして、震災に対する準備の具体的な方策やグッズを考案すること。本活動では上記の3点を目的として行った。これらの目的を達成するために、震災に対しての知識を身につけるだけでなく、震災が起こったときを想定して、準備で何ができるか・どんなグッズを用意すべきかをAI等の新しい技術を利用するなど主体的に考えることができた。

○文化祭での被災地・関西盲導犬協会支援

・本校の文化祭では東日本大震災で影響を受けた、宮城県産の揚げかまぼこや、南三陸歌津湾産の塩蔵わかめを、またユニバーサルな視点という点において、関西盲導犬協会が売り上げの一部を盲導犬育成のために寄付している盲導犬せんべいを販売した。これらの販売活動を通じて研究テーマである「防災」・「ユニバーサル」について研究していくための下地を身につけた。

なお、この販売での利益に関しては、令和6年度に起こった能登半島地震災害義援金として寄付を行った。

○防災施設の見学

・8月22日に人とみらい防災センター、9月1日に阿倍野防災センターへ見学に行った。その後、2回の見学を通して、学んだことを文書化し、AI(NotebookLM)にまとめ、生徒たちが振り返りを行うことで知見を広めた。

○防災グッズの開発

・今までの活動のまとめとして、防災グッズの開発を行った。そこでは就寝中に震災が起こったことを想定して、防災グッズを中に収納できる枕を開発した。最終的に考案したものを、AIを用いて画像にした。このような活動を通じて、実際に震災が起こってからの状況などをより具体的に想定するようになり、震災後の生活にて関心を持つようになった。その中でも防災食について、見識を広めていくことにした。

○防災食試食会の実施

・本校JRC部員を対象に、非常食(アルファ米など)の試食会を実施した。試食をするだけではなく、地震が発生し、本校の教室に炊き出し会場を設置するという状況を仮定して、生徒に机や食事を受け取る場所のレイアウトなどを考えさせ実施した。どのようなレイアウトにすれば、混雑なく食事が迅速に提供できるか、ゴミ箱の配置場所などについても考えた。

非常食について気づいたことや各家庭の備蓄状況に関してシェアをした。

本年度では、施設の見学や防災グッズの開発・防災食試食会の実施を通じて、「具体的な場面を想定する」ことができた。総じて本活動を通して、部員は防災に対する包括的な理解と実際の場面を設定した準備ができるようになった。

以上

令和6年6月 文化祭で作成したポスター



令和7年8月 人と未来防災センター訪問(1)



令和7年9月 阿倍野センター訪問(2)



令和7年10月 防災ボトル作成(1)



令和6年10月 考案したものをAIで画像化



令和8年3月 防災食試食会(1)



令和8年3月 防災食試食会(状況設定)

